

## 指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名：福岡県立総合プール
- 2 指定管理者名：西部ガスグループ共同事業体
- 3 指定期間：平成24年4月1日～平成29年3月31日
- 4 施設設置目的：県民の体育・スポーツの普及振興を図り、併せて健康増進と福祉の向上に資するため。
- 5 管理運営についての点検結果（平成28年4月1日～平成29年3月31日）
  - (1)点検方法：事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
  - (2)点検結果：別添のとおり

## ①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
<p>①公共性（公益性）の確保</p>	<p>○福岡県立総合プールの設置目的等を踏まえて、九州を代表する総合プール施設として、県民のスポーツ振興に貢献するとともに、水泳競技等のアスリート育成の場を提供する。</p> <p>○役割と能力を的確に捉え、計画的な研修・教育を行う。</p> <p>○施設の公共、公平、公正を確保し平等利用を徹底する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じて計画的に競技大会やイベント等を実施するとともに、一般県民に対するプール、会議室の提供を積極的に行い、県民のスポーツ普及振興を行った。</li> <li>・競技団体等が実施するスポーツ指導者の養成や選手強化等について、施設提供や情報提供を積極的に行った。</li> <li>・年間を通じたプールの施設提供のみならず、冬季にはスケートリンクを設置し、県民がより多くの種目に触れる機会を提供するとともに、冬季スポーツの競技力向上にも積極的に取り組んだ。</li> <li>・利用者に質の高いサービスを提供するために、職員に対して実践的な研修を計画的に行い、利用者のニーズに的確に対応できる人材の育成を図った。</li> <li>・施設利用者、障がいのある方、年齢、性別等の観点から、平等性の確保、平等利用の徹底に努めた。</li> </ul>
<p>②施設利用及びサービス向上</p>	<p>○競技団体と連携した水泳やスケート競技大会の開催、ホームページを始めとした積極的なPR活動や魅力的なイベントの開催等によって利用促進を図る。</p> <p>○当施設の機能を有効に活用するために、競技大会の継続開催、新たな競技大会の誘致活動、合宿、講習会の誘致等を積極的に行い利用促進に繋げていく。</p> <p>○水泳・アイススケート教室、トップアスリート発掘・養成の支援、スポーツ関係機関との連携等の取組を行い、利用促進を図る。</p> <p>○セルフモニタリングを実施し、多くの利用者からの意見を管理運営に反映させていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度利用者数151,902人（平成27年度140,447人：対前年度比108.2%）</li> <li>・競技団体、学校、行政機関等との連携を積極的に行い、福岡県高校総体予選や九州社会人選抜アイスホッケー選手権大会など、継続的に開催している。</li> <li>・定期的に掲載情報を更新してホームページの充実を図るとともに、チラシの作成・発行、情報誌の活用等を行い、競技団体や一般利用者に対する情報提供を積極的に行った。</li> <li>・水泳、フィギュアスケート、アイスホッケーなど、県民のニーズに応じたスポーツ教室を計画的に行うとともに、その内容の充実に努めた。また、温水プールオープンデーのイベントやスケート感謝デー等で無料開放を実施し、施設の利用促進を図った。</li> <li>・スクール生を対象とした「水上運動会」や「キャンプイベント」、「着衣水泳特別教室」を開催するなど、利用者のニーズに応じた柔軟なイベント企画・開催を行った。</li> <li>・利用者アンケート調査等によるセルフモニタリングを継続して実施し、利用者の意見を管理運営に反映させ、更なるサービスの向上を図った。</li> </ul>

<p>③経営（収支）改善</p>	<p>○競技大会の誘致活動の展開やホームページ等を活用した積極的なPRを実施し、利用団体数や利用者数を増やすことで収入増加に努める。</p> <p>○水光熱費について、省エネルギー診断や節水のノウハウを最大限に活用し、費用削減に努める。</p> <p>○委託業務の内製化を推進し、経費節減を図る。</p>	<p>・利用料金収入：実績額50,761千円（対前年度比 162.3%、27年度 31,282千円）目標額 31,557千円</p> <p>・事業収入：実績額11,636千円（対前年度比 92.0%、27年度 12,654千円）目標額 13,500千円</p> <p>・指定管理料：127,646千円（対前年度比 100%、27年度 127,646千円）</p> <p>・省エネルギー診断の実施や委託業務の内製化を推進することで、スケート営業日における急激な気温上昇等にも臨機応変な対応ができ、効率的な管理運営、経費節減に努めた。</p> <p>・前年度比較して、電気使用量は夏場の猛暑や冬場の気温高の影響のため、水道使用量は熊本地震の影響で振替開催された大会のため、それぞれ増加した。（電気使用量 対前年度比100.2%、水道使用量 対前年度比106.3%）</p>
<p>④職員確保方策及び健全な財政基盤</p>	<p>○現地管理組織と本部（共同事業体構成3社）が協力しながら業務を実施する。</p> <p>○責任者及び専門職員は経験や資格を持った適切な人材を選任し、配置する。</p>	<p>・共同事業体構成3社（西部ガス株式会社、西部ガス興商株式会社、株式会社ファイブ）で運営委員会を設置し、活動方針や事業計画の協議・承認等のマネジメントを行うとともに、現地施設の運営管理を積極的に支援した。</p> <p>・運営責任者、プール・アイススケート担当に、それぞれ経験等を有する適切な職員を配置した。</p>
<p>⑤施設管理上の個別事項</p>	<p>○利用者が安全に施設を利用できるように、事故や災害に対して適切な現場対応を行い「即時通報・即時対応」を原則とした対策を講じる。</p> <p>○個人情報管理のノウハウを生かし、福岡県個人情報保護条例に基づき、個人情報保護を行う。</p>	<p>・職員全員に普通救命講習の受講を義務付けることで職員の資質向上を図るとともに、県や警察・消防など、関係機関との連絡・報告・連携体制を確立し、事故や災害等発生時の対策を講じた。</p> <p>・個人情報に関するプライバシーポリシーを定めるとともに、全ての職員に対し、定期的に個人情報に関する教育を行うことにより、漏えい防止への意識付けを行った。</p>

## ②点検結果

<p><input type="checkbox"/> A+ （提案内容を上回った）</p> <p><input type="checkbox"/> A （提案内容をやや上回った）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B （概ね提案内容どおり）</p> <p><input type="checkbox"/> C （提案内容をやや下回った）</p> <p><input type="checkbox"/> D （提案内容を下回った）</p>	<p><b>【総合コメント】</b></p> <p>・熊本地震の影響で代替会場として大会を開催したため、利用者数・利用料金収入共に昨年度と比べて増加した。</p> <p>・競泳等の強化合宿・練習に利用されており、トップアスリートの育成支援に貢献している。</p> <p>・温水プールのオープンデーやスケート感謝デーなどの継続的なイベントや「水上運動会」、「キャンプイベント」、「着衣水泳特別教室」など、年間を通じて利用者のニーズに応じた柔軟なイベント等を計画・実施し、広く県民に施設を身近に感じていただくことにも力を注いでいる。</p> <p>・利用者に対するアンケート調査・聞き取り調査等のセルフモニタリングを継続して実施し、利用者のニーズに応じた管理運営を目指して、常にサービス向上に努めている。</p>
---	--